		C レベル(改善が必要)	B レベル(もう少し努力)	A レベル(目標達成)	Sレベル(すばらしい)
					ICTの社会的な役割と貢献
社会におけるICT利活用の現 状とICTを学ぶ必要性の理解	社会とICT	ICTの社会的な役割と貢献お	ICTの社会的な役割と貢献	ICTの社会的な役割と貢献	および個人・企業へ有用性
		よび個人・企業へ有用性の基	および個人・企業へ有用性	および個人・企業へ有用性	のおの展開を理解し、新し
		本を理解できる	の応用例までを理解できる	の展開までを理解できる	い提案をすることができ
					る。
情報社会に参加する姿勢・モ ラルの理解	情報モラル	インターネット利用における	インターネット・ICT利用	インターネット上のさまざ	情報モラルの必要性を理解
		問題点を知っている。	に関する法令等を知ってい	まなサービスの特徴を理解	し、インターネットやICT
	情報セキュリティ	身の回りのセキュリティリス		情報セキュリティの対策、	ISMS, 情報セキュリティポ
		クの危険性、対処法を理解し	念を理解している	基礎技術を理解している	リシを理解している
コンピュータの構成・動作の しくみの理解	情報科学の基礎	情報の単位を知っている。	コンピュータ内での情報の 表現方法を知っている。	2, 10, 16進数の変換がで きる。	論理演算ができる。
	ソフトウェア			専門用語を使って、アプリ	
		ソフトウェアに関する用語を	ソフトウェアの分類ができ	ケーションソフトとオペ	オペレーティングソフトの
		知っている。	る。	レーティングシステムの違	役割が説明できる。
				いを説明できる。	
	ハードウェア	ハードウェアに関する用語を いくつか知っている。	コンピュータの基本構成を説明できる。	関連する専門用語を使って、各装置の役割が説明できる。	各装置間でのデータの流れ と制御の仕組みを説明でき る。
	データ構造とアルゴリズム の基本的な仕組みやプログ ラミングの特徴の理解	データ構造として、変数、配	プログラミング言語、言語	フローチャートによる基本	選択ソートのアルゴリズム
		列、キュー、スタック、リス	プロセッサの特徴や役割が	制御構造が理解できる。	をフローチャートやトレー
		ト構造、木構造が理解でき	理解できる。		ス表で表現できる。
		る。			
インターネットの仕組み・応 用技術の理解	ネットワーク	コンピュータネットワークに	コンピュータネットワーク	関連する専門用語を使っ	関連する専門用語を使っ
		関する用語をいくつか知って		て、コンピュータネット	て、コンピュータネット
		いる。	きる。	ワークの仕組みが説明でき	ワークの全体像を図式化で
				る。	きる。
	インターネット技術			関する専門用語を使って、	関する専門用語を使って、
		インターネットのサービスと		インターネットのサービス	インターネットのサービス
		プロトコル群に関する用語を		とプロトコル群の仕組みが	とプロトコル群の全体像を
		いくつか知っている。	門用語を説明できる。	説明できる。	図式化できる。
マルチメディアに関する基礎 知識の習得	マルチメディア	メディアの基本概念を理解し	マルチメディアを支える基	マルチメディアの取り扱い	マルチメディアコンテンツ
		ている	本技術を理解している	について理解している	制作技術を理解している
	インターフェースデザイン	ヒューマンインターフェースの基本概念を理解している	ヒューマンインターフェー	ユーザビリティや、ユニ	ユーザビリティに配慮した
			スを支える技術について理	バースデザインの基本概念	マルチメディアコンテンツ
		<u>い埜</u> 外	解している	について理解している	制作技術を理解している